

令和元年10月24日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

播磨臨海地域の課題解決のために、みなさまのご意見をお聴かせ下さい
＜ 10/25～11/30 アンケート調査・オープンハウスを開始します ＞

播磨臨海地域道路の4つのルート帯案について、地域のみなさま及び道路を利用されるみなさまのご意見を幅広くお聴きするため、アンケート調査及びオープンハウス(パネル展示、アンケート)を実施します。

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所では、播磨臨海地域の課題(渋滞、事故等)を解決するための道路計画を検討しています。

このたび、「地域の課題を解決するための対応方針(案)」として検討した4つのルート帯案について、地域のみなさま及び道路を利用されるみなさまに以下のとおりご意見をお聴きしますので、ご協力をお願いします。

■アンケート調査及びオープンハウスの概要

○アンケート調査

実施期間 : 令和元年10月25日(金)～令和元年11月30日(土)

調査方法 : ①郵送配布(各世帯、事業所の中から無作為に抽出して配布)

②アンケート用紙設置(29カ所(別紙1参照)に設置)

(参考)アンケート用パンフレット・アンケート票(別紙2・3参照)

③WEBアンケート(下記のURL等参照)

回答ページへは「播磨臨海地域道路 アンケート」で検索、
URLへアクセスのほか、QRコードからもアクセスできます。

回答用ページのURL : <https://harimarinkai2019.jp/>



○オープンハウス

実施期間 : 令和元年11月1日(金)～令和元年11月28日(木)

調査方法 : 地域の課題や対応方針案を説明するオープンハウスを15カ所(別紙4参照)で開催。※パネル展示や皆様のご質問にもお答えします。

＜取材について＞

取材をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

＜取扱い＞ _____

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、
神戸市政記者クラブ、東播磨県民局庁内記者室、
中播磨県民センター庁舎内記者室、西播磨県民局庁舎内記者室

＜問合せ先＞ 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

副所長 おした よしはる 尾下 嘉春(内線205)

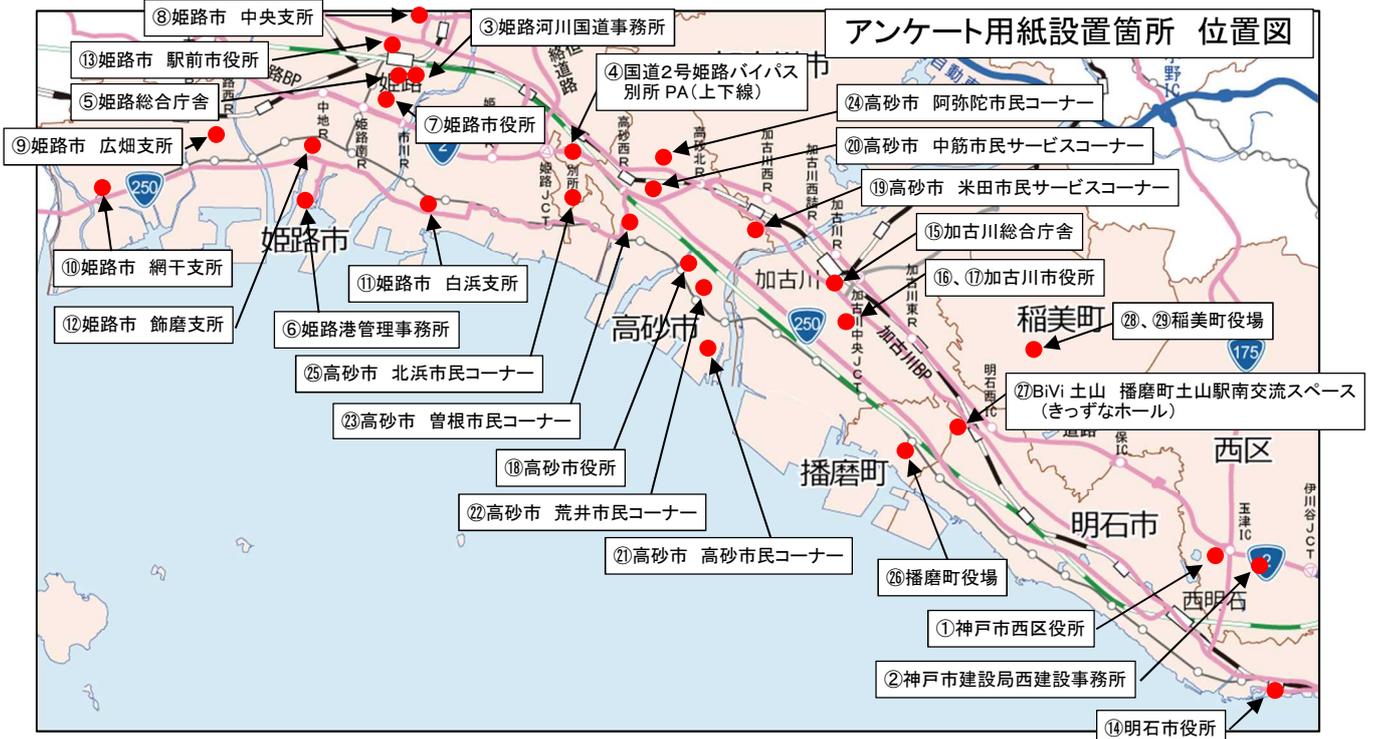
調査課長 まえば としはる 前羽 利治(内線451)

電話:079-282-8211 (代表)

アンケート用紙設置箇所一覧

設置箇所		アンケート期間中の 営業時間※	
神戸市	①神戸市西区役所 4階ロビー	8時45分～17時15分	
	②神戸市建設局西建設事務所 2階ロビー		
姫路市	③姫路河川国道事務所 1階ロビー	8時30分～17時15分 終日設置	
	④国道2号姫路バイパス 別所PA 建物入り口(上下線)		
	⑤姫路総合庁舎 2階ロビー		
	⑥姫路港管理事務所 1階入り口ロビー	8時45分～17時45分	
	⑦姫路市役所 7階交通計画室		
	⑧姫路市 中央支所		
	⑨姫路市 広畑支所		
	⑩姫路市 網干支所		
	⑪姫路市 白浜支所		
	⑫姫路市 飾磨支所		
	⑬姫路市 駅前市役所	8時35分～17時20分	
	明石市	⑭明石市役所 6階道路整備課窓口	8時35分～19時30分
		⑮明石市役所 6階道路整備課窓口	10時00分～19時30分
加古川市	⑯加古川総合庁舎 1階ロビー受付カウンター	8時55分～17時40分	
	⑰加古川市役所 新館5階都市計画課窓口	8時45分～17時45分	
	⑰加古川市役所 新館1階ロビー		
高砂市	⑱高砂市役所 本庁舎1階玄関ホール	8時30分～17時15分	
	⑲高砂市 米田市民サービスコーナー		
	⑳高砂市 中筋市民サービスコーナー		
	㉑高砂市 高砂市民コーナー		
	㉒高砂市 荒井市民コーナー		
	㉓高砂市 曾根市民コーナー		
	㉔高砂市 阿弥陀市民コーナー		
	㉕高砂市 北浜市民コーナー		
播磨町	㉖播磨町役場 1階情報コーナー	8時30分～17時15分	
	㉗BVi土山 播磨町土山駅南交流スペース(きっずなホール)	9時00分～19時00分	
稲美町	㉘稲美町役場 2階都市計画課窓口	8時30分～17時15分	
	㉙稲美町役場 1階情報コーナー		

※休業日は土曜日、日曜日、祝日(別所 PA、姫路市飾磨支所、姫路市駅前市役所は休業日なし)





慢性的な渋滞



多発する事故

みんなで
考 え る

「播磨臨海地域道路」
道路計画に関するアンケート調査



進行する老朽化

「播磨臨海地域道路」の 道路計画に関するアンケート調査

みんなで
考える

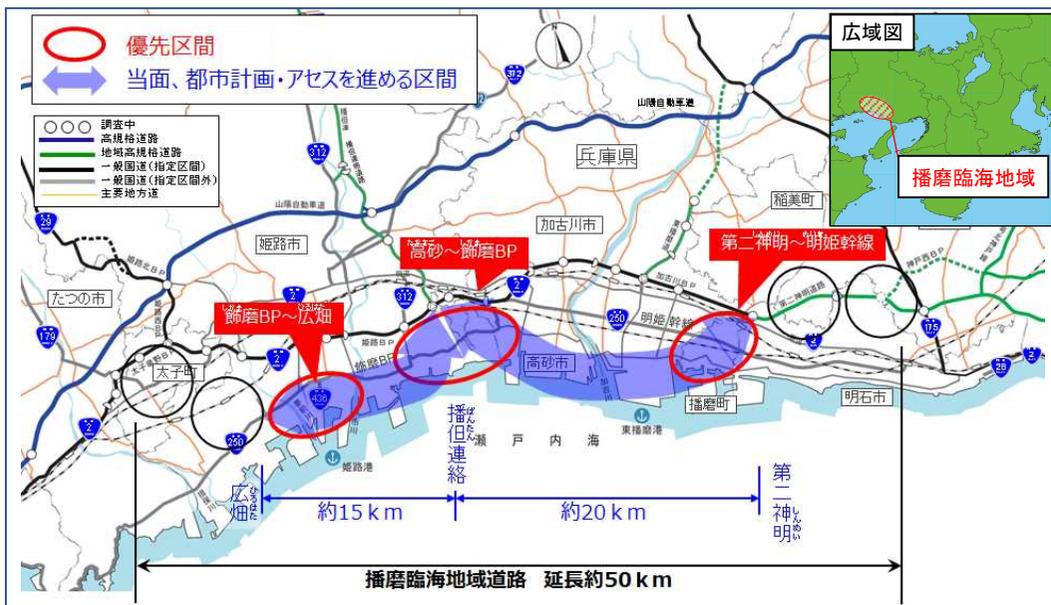
▶ 現在、計画の検討を進めています

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施しています。

このアンケートは、播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）の計画について周辺地域の皆さまにご意見を伺うものです。前回（第1回意見聴取）では、設定した政策目標、留意事項の妥当性等についてご意見をお伺いしており、今回（第2回意見聴取）では、地域の課題を解決するための対応方針（案）についてお伺いします。

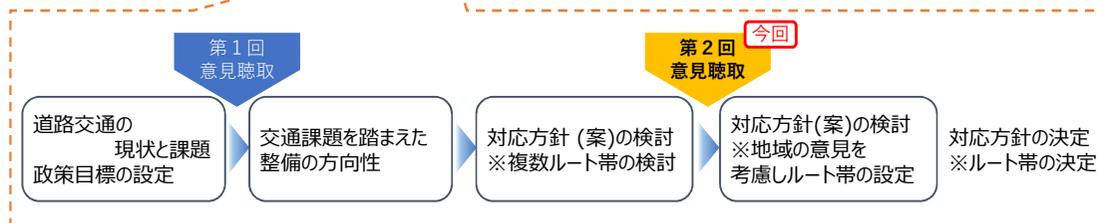
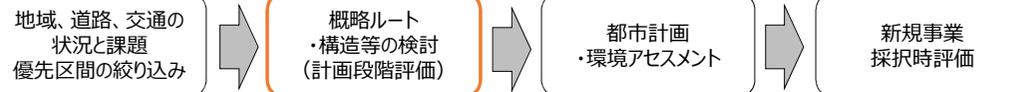
なお、本事業は環境影響評価法（平成9年法律第81号）に基づく計画段階環境配慮書（配慮書）の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

ご協力のほどよろしくお願いたします。



今回のアンケート調査は、播磨臨海地域（神戸市西区、姫路市、明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）にお住まいの方々と事業所から住民基本台帳等をもとに無作為抽出し送付しております。調査結果は統計的に処理した上で公表いたします。（住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。）

▶ 皆さまのご意見をお聞かせください。



アンケートの回答方法

● 回答は同封された回答用紙又はインターネットから 令和元年11月30日(土) までにご回答ください。

【回答用紙によるご回答の場合】

回答用紙を同封の封筒に封入し、お近くのポストへ投かんをお願いします。
(同封の封筒を使用する場合は切手は不要です)

【インターネットによるご回答の場合】

下記アドレス、QRコード、またはキーワード検索よりアンケートページへアクセスし、ご回答をお願いします。

播磨臨海地域道路の道路計画に関するアンケート調査 Web回答用のページ

URL: <https://harimarinkai2019.jp/>

または

QRコードからも回答
いただけます



※インターネットによるご回答はどなたでも可能です。

お問い合わせ先

■調査実施主体

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課

〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目250番地
電話：079-282-8504
(土・日・祝除く9時～17時)

■調査協力自治体

兵庫県 県土整備部 土木局
道路企画課 高速道路推進室
姫路市 都市局交通計画室 播磨臨海地域道路推進室
明石市 都市局道路安全室 道路整備課
加古川市 都市計画部 都市計画課
高砂市 まちづくり部まちづくり推進室 都市政策課
神戸市 建設局 湾岸・広域幹線道路本部 推進課
稲美町 地域整備部 都市計画課
播磨町 都市計画グループ

電話：078-362-9243
電話：079-221-2196
電話：078-918-5034
電話：079-427-9730
電話：079-443-9033
電話：078-595-6441
電話：079-492-9143
電話：079-435-2366

前回の意見聴取では多くの方からご意見を頂戴しました。

【住民の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

住民の皆様への意見聴取は、オープンハウスによるアンケート調査とし、平成30年2月2日～2月19日に実施しました。実施箇所は、播磨臨海地域にある主要駅や自治体の市役所・町役場、国道2号バイパス等のサービスエリア・パーキングエリアとしました。

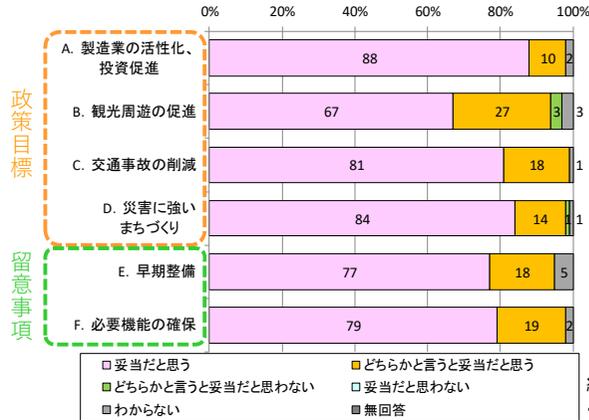
開催箇所	開催日時*	回答数
明石SA（上・下）	H30.2. 4(日), 5(月)	632
別所PA（上・下）	H30.2.18(日),19(月)	570
JR姫路駅	H30.2.12(月),13(火)	362
JR加古川駅	H30.2.16(金),17(土)	232
JR土山駅	H30.2. 2(金), 3(土)	190
山陽飾磨駅	H30.2.12(月),13(火)	187
山陽広畑駅	H30.2.16(金),17(土)	221
山陽白浜の宮駅	H30.2.16(金),17(土)	580

開催箇所	開催日時*	回答数
山陽大塩駅	H30.2.18(日),19(月)	258
山陽荒井駅	H30.2. 4(日), 5(月)	72
山陽別府駅	H30.2. 9(金),10(土)	155
姫路市役所	H30.2.14(水),15(木)	599
加古川市役所	H30.2.14(水),15(木)	248
高砂市役所	H30.2. 6(火), 7(水)	298
播磨町役場	H30.2. 6(火), 7(水)	217
合計	15箇所（のべ30日）	4,821

※：いずれも10:00～16:00の間で実施

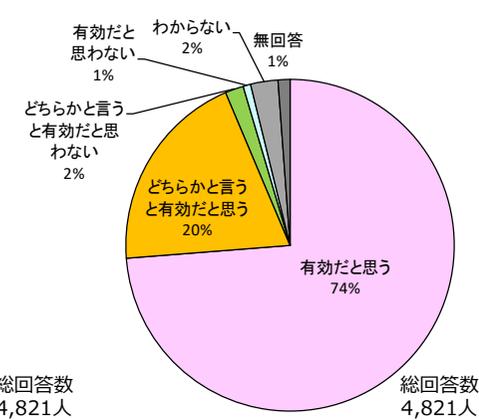
○政策目標、留意事項の妥当性

政策目標、留意事項の妥当性について、住民の皆さまから意見を頂きました。



○播磨臨海地域道路の有効性

播磨臨海地域道路の有効性について住民の皆さまから意見を頂きました。



【事業者の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

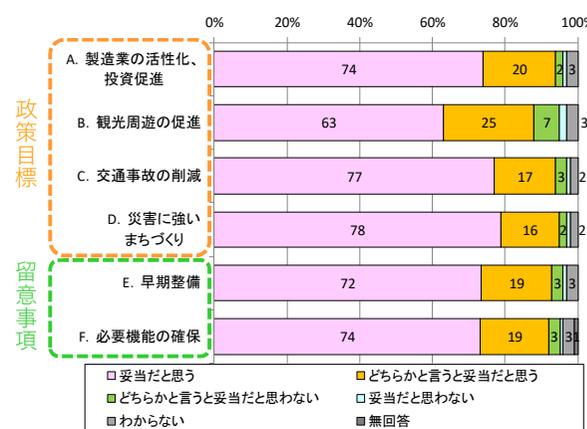
事業者の皆さまへの意見聴取は、ヒアリングによるアンケート調査とし、平成29年12月18日～平成30年2月15日に実施しました。対象者は、商工会・商工会議所や地元自治体の意見を元に抽出した企業・団体、住民代表、関係自治体としました。

対象分類	箇所数
商工会・商工会議所	7箇所
製造業・物流業	42箇所
農業・漁業	12箇所
観光業・バス・タクシー業	8箇所
関係自治体	6箇所
住民代表	10箇所
合計	85箇所*

※：1箇所のヒアリングで複数の対象者から回答を得たケース（関連企業、関連住民代表等）があるため、回答者数としては99者

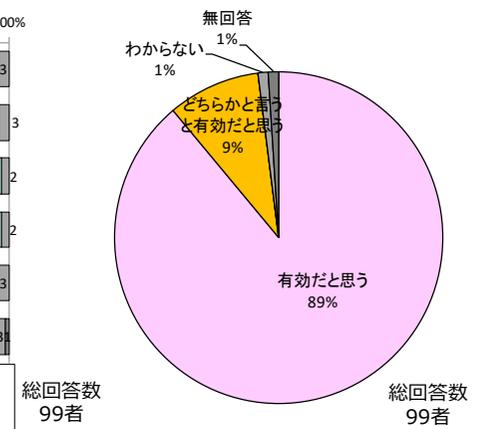
○政策目標、留意事項の妥当性

政策目標、留意事項の妥当性について、事業者の皆さまから意見を頂きました。



○播磨臨海地域道路の有効性

播磨臨海地域道路の有効性について事業者の皆さまから意見を頂きました。

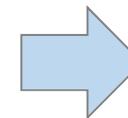


○主な自由意見

- ・周辺の土地利用や住民への影響をよく考慮した上で、早期開通を目指してほしい。
- ・有料道路にして早期整備を進める。
- ・2号バイパスは特に渋滞が酷いため、スピード感のある対応をお願いしたい。
- ・道路整備は、これまでの交通網に加えて、さらに町の活性化が見込まれるものであることが望まれる。
- ・地震や水害等に強い道路を希望する。
- ・臨海地域における、生活車両と生産流通車両との混在が著しい。

まとめ

- ・第1回意見聴取で提示した政策目標・留意事項は、地域の課題に対応している。
- ・地域住民、道路利用者、事業者の多くが、播磨臨海地域道路の有効性を感じている。

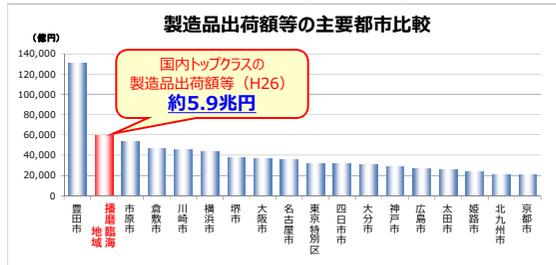


「播磨地域の政策目標を達成するための機能」を有するルート帯案を検討

課題① 慢性的な渋滞とそれに伴う経済への影響

- 産業交通と生活交通の混在によって東西主要幹線（国道2号BP等）と南北道路で慢性的な渋滞が発生
- 播磨臨海地域の企業の製造品出荷額等^{※1}は国内第2位の約5.9兆円（H26）^{※2}で、主に国道2号BPを利用

※1 製造品出荷額等1年間（1～12月）における製造品出荷額、加工費収入額、その他収入額及び製造工程からでなく及び廃物の出荷額の合計



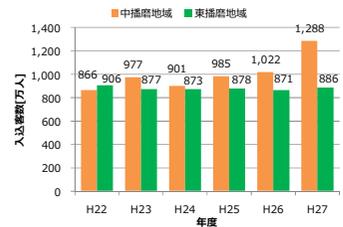
政策目標A：製造業の活性化、投資促進

課題② 渋滞が及ぼす観光への悪影響

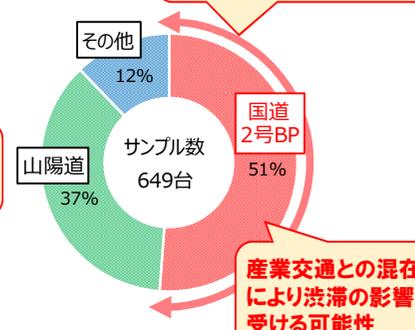
- 播磨地域への観光入込客数は増加傾向
- 自動車利用の観光客の多くが国道2号BPを利用
- 渋滞により、国道2号バイパスの速達性、定時性が確保されていない



【姫路城周辺エリアへの利用経路】
姫路城周辺－神戸以東・たつの以西間の利用経路（休日）



姫路城周辺エリアへは約5割が国道2号BP利用



中播磨地域では観光入り込み客数が増加傾向

産業交通との混在により渋滞の影響を受ける可能性

出典：ETC2.0フロップ情報（2015年10月～12月）
姫路城周辺エリアへ8時～15時に到着した車両と15時以降に姫路城周辺エリアを出発した車両を対象

政策目標B：観光周遊の促進

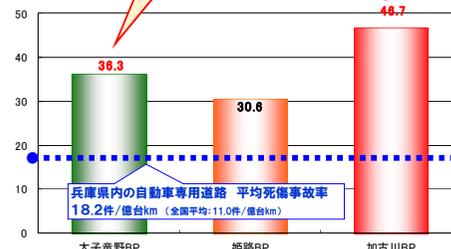
課題③ 多発する交通事故

- 国道2号バイパスは、兵庫県内平均の約2倍以上の死傷事故率[※]
- 国道2号バイパスの事故は、渋滞による速度低下が原因の一つと考えられる追突事故が約8割

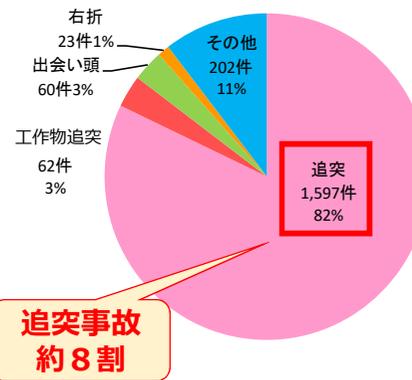
※死傷事故率：事故危険度の指標の一つ。1kmの区間を1億台の自動車が行ったときに発生する死傷事故件数で表し、その区間で死傷事故が発生する割合を示す。

【国道2号バイパスの死傷事故率】

兵庫県内の自動車専用道路の平均死傷事故率の約2倍以上



【国道2号バイパスの事故類型】



政策目標C：交通事故の削減

課題④ 災害リスク

- 洪水及び南海トラフ巨大地震に伴う津波による通行止めが懸念



政策目標D：災害に強いまちづくり

播磨臨海地域道路に必要な道路の機能

- 播磨臨海地域と主要な港湾拠点とのアクセス機能（速達性・定時制）の強化
 - ・速達性、定時制に優れた自動車専用道路ラダーネットワークが必要
- 東西方向のサービスレベルの向上（渋滞緩和）
 - ・交通容量を拡大するための多車線道路が必要
- 交通規制・通行止めリスクの低減
 - ・交通規制・通行止めリスク低減に資するネットワーク代替性の強化が必要

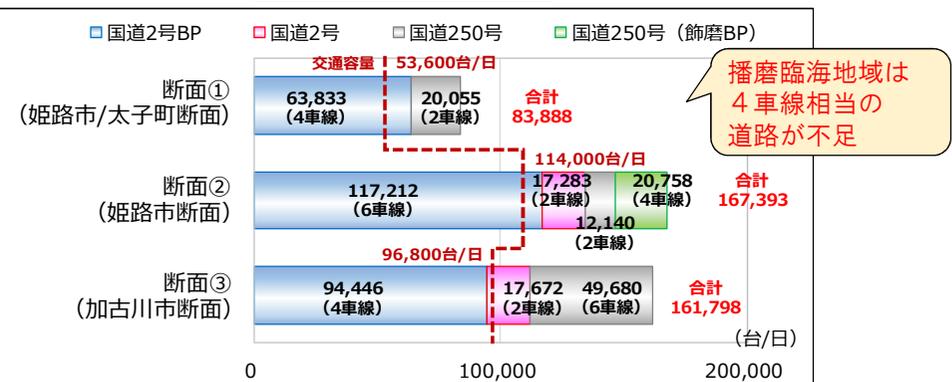
播磨臨海地域道路のルート・構造を検討する際の前提条件

- 臨海部産業地域からの良好なアクセスルート
- 自動車専用道路
- 多車線道路（4車線）

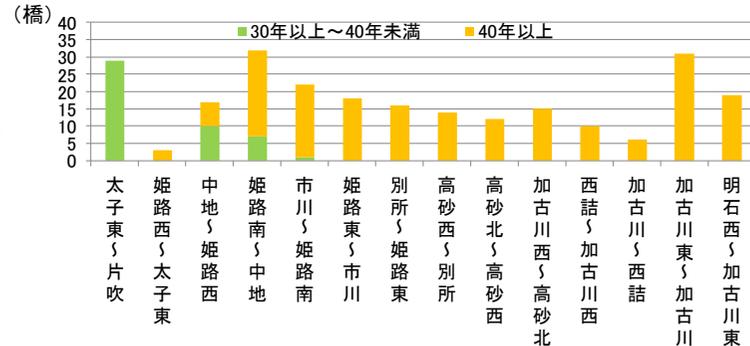


・神戸港周辺の臨海部は複数の自動車専用道路ネットワークが形成されているが、播磨臨海地域（姫路港・東播磨港周辺）の自動車専用道路ネットワークは国道2号バイパス1路線のみ

幹線道路の断面交通量



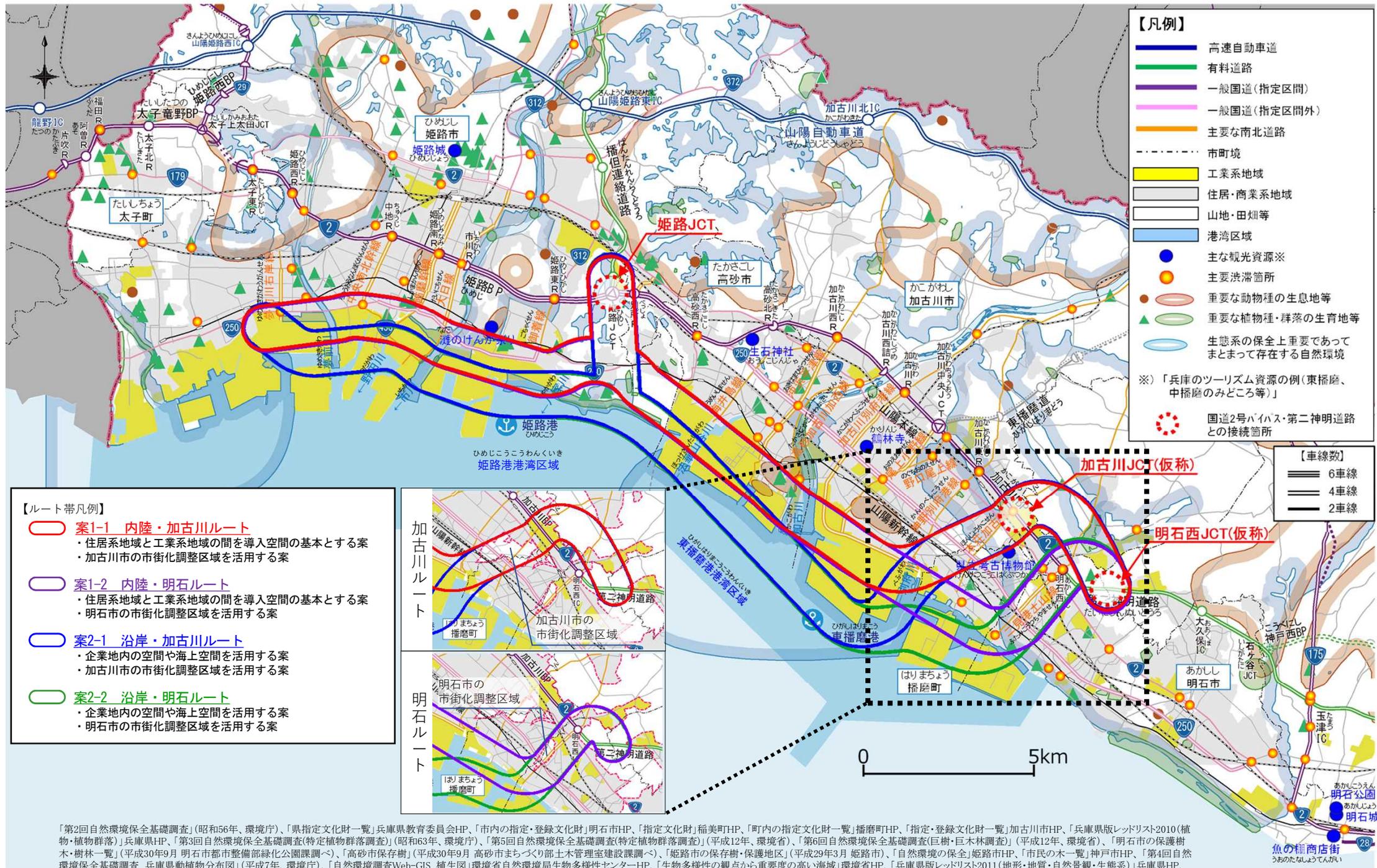
国道2号BPの橋梁供用後の経過年数



・大部分の橋梁において、今後10年で建設後50年以上を迎える
 ・大規模改修のための交通規制・通行止めは社会的影響が大きい

※1交通量は平成27年度 道路交通量調査 ※2交通容量は道路構造令における設計基準交通量を採用 国道2号BP: 第1種第3級(11,000台/車線) 国道2号-国道250号: 第4種第1級 2車線区間(9,600台/2車線)、多車線区間(7,200台/車線)

播磨臨海地域の課題を解決するための対応方針(案)を作成しました。

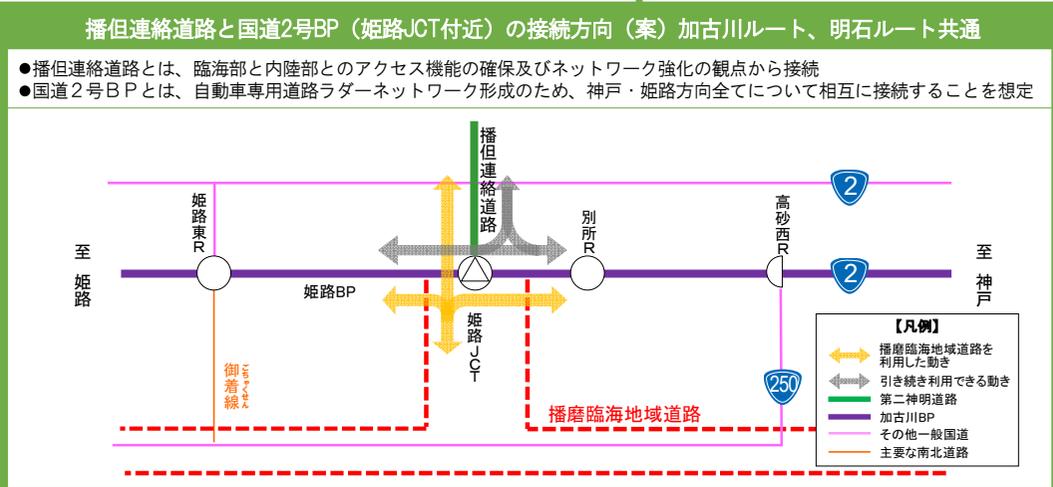


「第2回自然環境保全基礎調査(昭和56年、環境庁)」「県指定文化財一覧」兵庫県教育委員会HP、「市内の指定・登録文化財」明石市HP、「指定文化財」稲美町HP、「町内の指定文化財一覧」播磨町HP、「指定・登録文化財一覧」加古川市HP、「兵庫県版レッドリスト2010(植物・植物群落)」兵庫県HP、「第3回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(昭和63年、環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(平成12年、環境省)、「第6回自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)」(平成12年、環境省)、「明石市の保護樹木・樹林一覧」(平成30年9月 明石市都市整備部緑化公園課調べ)、「高砂市保存樹」(平成30年9月 高砂市まちづくり部土木管理室建設課調べ)、「姫路市の保存樹・保護地区」(平成29年3月 姫路市)、「自然環境の保全」姫路市HP、「市民の木一覧」神戸市HP、「第4回自然環境保全基礎調査 兵庫県動物分布図」(平成7年、環境庁)、「自然環境調査Web-GIS 植生図」環境省自然環境局生物多様性センターHP、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」環境省HP、「兵庫県版レッドリスト2011(地形・地質・自然景観・生態系)」兵庫県HP、「平成30年度兵庫県鳥獣保護区等位置図」兵庫県HP、「兵庫県の自然公園」兵庫県HP、「土地利用調整総合支援ネットワークシステム(LUCKY)」国土交通省国土政策局総合計画課HP

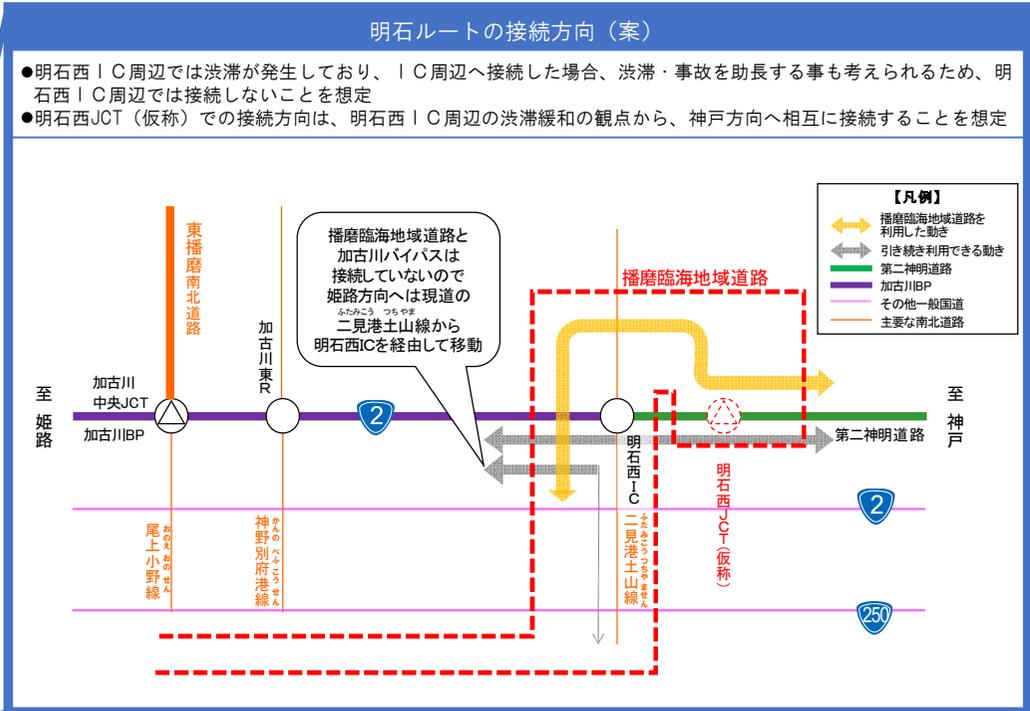
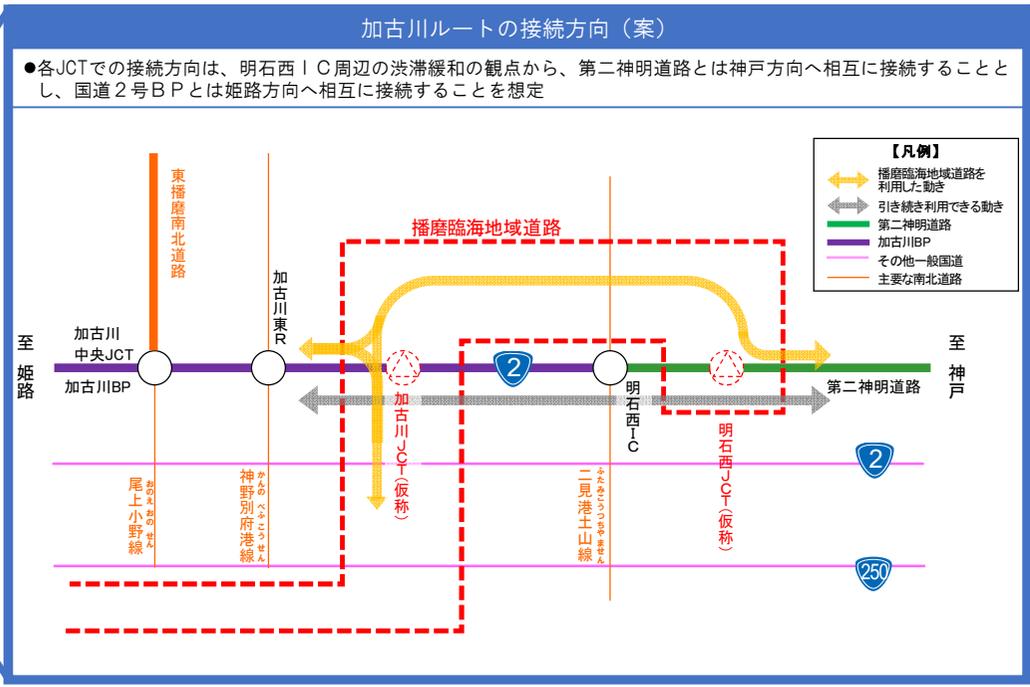
各ルート帯案の概要



加古川ルート
(加古川市の市街化調整区域を活用する案)



明石ルート
(明石市の市街化調整区域を活用する案)



播磨臨海地域道路のルート案 比較表

		内陸ルート		沿岸ルート		
評価軸		案1-1 内陸・加古川ルート	案1-2 内陸・明石ルート	案2-1 沿岸・加古川ルート	案2-2 沿岸・明石ルート	
ルート帯の概要		・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案	
政策目標	製造業の活性化、投資促進	臨海部からの阪神方面への連絡時間の短縮	・バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への 連絡時間短縮が期待できる 。	・バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への 連絡時間短縮が期待できる 。	・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への 連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る 。 《内陸ルートより約1.2km ^{※1} 海側を通過》	・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への 連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る 。 《内陸ルートより約1.2km ^{※1} 海側を通過》
		南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路の 渋滞緩和が期待できる 。 《主要渋滞箇所数 ^{※2} :20箇所》	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなり、南北道路の 渋滞緩和が期待できる が、明石西IC付近の 渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る 。 《主要渋滞箇所数 ^{※2} :20箇所》	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路の 渋滞緩和が期待できる 。 《主要渋滞箇所数 ^{※2} :20箇所》	・臨海部からの移動において主要渋滞箇所の通過がなくなり、南北道路の 渋滞緩和が期待できる が、明石西IC付近の 渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る 。 《主要渋滞箇所数 ^{※2} :20箇所》
	観光周遊の促進	産業交通の転換による国道2号BPの観光交通の速達性、定時性の向上	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる 。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる 。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる が、内陸ルートに比べて劣る。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる が、内陸ルートに比べて劣る。
	交通事故の削減	国道2号BPにおける渋滞解消による追突事故の削減	・国道2号BPの渋滞緩和による 追突事故の削減が期待できる 。	・国道2号BPの渋滞緩和による 追突事故の削減が期待できる 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、 交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、 交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る 。
		南北道路からの産業交通の転換による事故の削減	・南北道路の渋滞緩和による 交通事故の削減が期待できる 。	・南北道路の渋滞緩和による 交通事故の削減が期待できる 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の 交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の 交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る 。
災害に強いまちづくり	災害時に機能するネットワークの確保	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果が高い 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果が高い 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果は内陸ルートに比べて劣る 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果は内陸ルートに比べて劣る 。	
その他	生活環境への影響	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の 生活環境への影響が懸念される 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の 生活環境への影響が懸念される 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、 内陸ルートに比べ影響する範囲は少ない 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、 他案に比べ影響する範囲は少ない 。	
	自然環境への影響	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	
	支障となる家屋及び工場等	・家屋:約240棟 工場等:約240棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	・家屋:約240棟 工場等:約330棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割	・家屋:約170棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	・家屋:約60棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割	
コスト		約5,900億円	約6,200億円	約9,300億円	約9,500億円	

※1)内陸ルート帯中央部から沿岸ルート帯中央部までの平均距離
 ※2)国道2号BPと臨海部をつなぐ南北道路の主要渋滞箇所

一般の方用

アンケート回答用紙

現在、播磨臨海地域道路の計画を進めております。地域にとって、より良い計画となるよう、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

問 1 ご回答いただく方ご自身のことについてお聞きます。 (該当する番号に○をつけてください)	
問 1-1 性別	1. 男性 2. 女性
問 1-2 年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代以上
問 1-3 郵便番号	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> (郵便番号をご記入ください)
問 1-4 自動車の運転頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に 3~4 回 3. 週に 1~2 回 4. 月に 2~3 回 5. 月に 1 回程度 6. それ以下 7. 運転しない
問 1-5 普段の運転の目的 (複数選択可)	1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買い物 4. 仕事・業務 5. 観光・レジャー 6. 運転しない 7. その他 ()
問 1-6 国道 2 号バイパスの利用頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に 3~4 回 3. 週に 1~2 回 4. 月に 2~3 回 5. 月に 1 回程度 6. それ以下 7. 利用しない

問 2 お示したルート帯案についてお聞きます。	効果的だ と思う	やや 効果的だ と思う	どちら ともい えない	あまり 効果 的だ と思 わ ない	効果 的 だ と 思 わ ない
問 2-1 地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思われませんか？(該当する番号 1 つに○をつけてください)	1	2	3	4	5
問 2-2 効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、お答えください					

問 3 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思われませんか(該当する番号 1 つに○をつけてください)	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視すべきでない	重視する必要はない
1 阪神方面への連絡時間短縮と南北道路における渋滞の回避により、製造業の活性化、投資促進につながる道路	5	4	3	2	1
2 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路	5	4	3	2	1
3 大型車が国道 2 号 BP や周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路	5	4	3	2	1
4 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路	5	4	3	2	1
5 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
6 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
7 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路	5	4	3	2	1
8 事業費が少ない道路	5	4	3	2	1

問 4 ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、お答えください。

問 5 その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたらお答えください。

ご協力ありがとうございました。(※本アンケート結果は、一般に公表する可能性があります。)

事業所の方用

アンケート回答用紙

現在、播磨臨海地域道路の計画を進めております。地域にとって、より良い計画となるよう、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

問 1 貴事業所のことについてお聞きします。 (該当する番号に○をつけてください)			
問 1-1 従業員数	1. 1~4 人 4. 20~29 人 7. 100~199 人	2. 5~9 人 5. 30~49 人 8. 200~299 人	3. 10~19 人 6. 50~99 人 9. 300 人以上
問 1-2 業種	1.農業 2.林業 3.水産業 4.製造業 5.建設業 6.電気・ガス・水道業 7.情報通信業 8.金融業 9.運輸業 10.小売業 11.サービス業 12.その他 ()		
問 1-3 郵便番号	〒 □□□□-□□□□ (郵便番号をご記入ください)		
問 1-4 (複数選択可) 国道2号バイパスの利用目的	1.営業 4.旅客	2.運送・運搬 5.運行しない	3.送迎 6.その他 ()
問 1-5 国道2号バイパスの利用頻度	1.ほぼ毎日 4.月に2~3回	2.週に3~4回 5.月に1回程度	3.週に1~2回 6.それ以下 7.利用しない

問 2 お示したルート帯案についてお聞きします。	効果的だ と思う	やや 効果的だ と思う	どちら ともい えない	あまり 効果 的だ と思 わ ない	効果 的 だ と 思 わ ない
問 2-1 地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思われませんか？(該当する番号 1 つに○をつけてください)	1	2	3	4	5
問 2-2 効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、お答えください					

問 3 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思われませんか？(該当する番号 1 つに○をつけてください)	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視すべきでない	重視する必要はない
1 阪神方面への連絡時間短縮と南北道路における渋滞の回避により、製造業の活性化、投資促進につながる道路	5	4	3	2	1
2 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路	5	4	3	2	1
3 大型車が国道2号BPや周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路	5	4	3	2	1
4 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路	5	4	3	2	1
5 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
6 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
7 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路	5	4	3	2	1
8 事業費が少ない道路	5	4	3	2	1

問 4 ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、お答えください。

問 5 その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたらお答えください。

ご協力ありがとうございました。(※本アンケート結果は、一般に公表する可能性があります。)

みなさまのご意見をいただくため、オープンハウスを開催します！

播磨臨海地域の道路交通の課題を解決するための「播磨臨海地域道路」について、これまでに検討された「政策目標」、「留意事項」及び「播磨臨海地域道路の整備の方向性」を踏まえ、「地域の課題を解決するための対応方針（案）」を検討しました。

今回、「地域の課題を解決するための対応方針（案）」について地域のみなさま及び道路を利用されるみなさまのご意見をいただくため、オープンハウス(パネル展示、アンケート)を開催します。ご協力のほど、よろしくお願いします。

オープンハウスの実施箇所については裏面をご覧ください。

対応方針（案）について、みなさまのご意見をお聞かせください

－これまでの検討経緯－

① 地域の課題を把握

慢性的な渋滞

多発する事故

経済活動の効率性低下

観光地へのアクセス性低下

災害リスク

② 課題解決のため政策目標・留意事項を設定

1. 製造業の活性化、投資促進

2. 観光周遊の促進

3. 交通事故の削減

4. 災害に強いまちづくり

③ 整備の方向性として、ルート・構造を検討する際の前提条件を設定

1. 臨海部産業地域からの高いアクセス性

2. 自動車専用道路

3. 多車線道路（4車線）

地域の課題を解決するための対応方針（案）として4ルートを検討しました。



播磨臨海地域道路に関するオープンハウスを開催します！

地域の課題を解決するための対策案について、地域のみなさまのご意見を直接お聴きするためオープンハウスを開催します。

オープンハウスは次の15会場で開催します。どの会場にもご参加いただけます。

スーパーセンタートライアル明石西インター店
 令和元年11月1日(金),2日(土)
 10時~16時 出入口付近

オープンハウス会場

第二神明道路 明石SA (上下線)
 令和元年11月1日(金),2日(土)
 10時~16時 トイレ付近

オープンハウス会場

マックスバリュ梅井店
 令和元年11月4日(月・振休),5日(火)
 10時~16時 出入口付近

オープンハウス会場

イズミヤ西神戸店
 令和元年11月4日(月・振休),5日(火)
 10時~16時 1Fステージ

オープンハウス会場

播磨町役場
 令和元年11月5日(火),6日(水)
 10時~16時 1F情報コーナー

オープンハウス会場

イオンモール姫路リバーシティ
 令和元年11月10日(日),11日(月)
 10時~16時 2Fサイゼリヤ横

オープンハウス会場

国道2号姫路バイパス 別所PA (上下線)
 令和元年11月10日(日),11日(月)
 10時~16時 コンビニ付近

オープンハウス会場

姫路市白浜支所
 令和元年11月17日(日),18日(月)
 10時~16時 1F玄関ホール

オープンハウス会場

イトーヨーカドー加古川店
 令和元年11月17日(日),18日(月)
 10時~16時 2階立体駐車場側入口

オープンハウス会場

アスパ高砂
 令和元年11月17日(日),18日(月)
 10時~16時 1Fセントラルコート

オープンハウス会場

姫路市大塩サービスセンター
 令和元年11月22日(金),23日(土・祝)
 10時~16時 第1・第2研修室

オープンハウス会場

イオンタウン東加古川
 令和元年11月22日(金),23日(土・祝)
 10時~16時 マックスバリュ正面入口

オープンハウス会場

MEGAドン・キホーテ姫路広畑店
 令和元年11月24日(日),25日(月)
 10時~16時 1Fエレベーター前

オープンハウス会場

にじいろふぁーみん
 令和元年11月24日(日),25日(月)
 10時~16時 出入口付近

オープンハウス会場

尾上公民館
 令和元年11月27日(水),28日(木)
 10時~16時 入口正面

オープンハウス会場

各会場で開催当日に担当者がアンケート用紙を配布しますのでご協力をお願いします。なおアンケート用紙は当日に回収させていただきます。

アンケートの提出先・お問い合わせ先
国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
 〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目250番地
 電話：079-282-8504 (土・日・祝を除く9時~17時)

□ 事業の名称：播磨臨海地域道路
 □ 事業を実施しようとする者の氏名及び住所：国土交通省 近畿地方整備局長 井上 智夫 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44
 □ 事業実施想定区域：第二神明~広畑(延長約35km)

本事業は、環境影響評価法(平成9年法律第81号)に基づく計画段階環境配慮書(配慮書)の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。